

【算数】

「※」は学習するときのヒントです。

<学習内容>

◆「大きな数」（教科書18～19ページ）

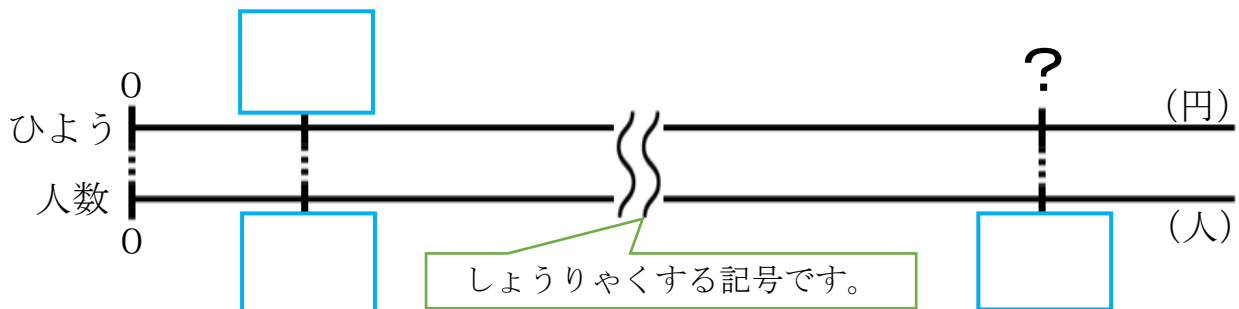
みんなで遠足に行きます。
遠足のひょうとして、285円ずつ集めます。
127人分集めると、全部で何円になるでしょうか。



- (1) 下の数直線に、赤ペンで数や矢じるしなどをかきくわえて、どんな式になるか考えましょう。

※図を使うと、考えたり表したりする力が身につくよ。

※教科書165ページ「数直線のかき方」をさんこうにしてね。



式

- (2) 3年生までに学習したかけ算の計算を思い出して、下の口の中に、いくつかのかけ算の式を書きましょう。

※いくつか書いてもいいよ。(例) 3×5 , 10×8 , ...

※3年生の教科書をもう一度読み返して、思い出してもいいね。

あれ？ 3年生までは、3けた×2けたの計算まで習ったけれど、今日の問題の式はけたがふえているよ。



3けた×3けたは、どのようにして計算すればいいのかな。
3けた×2けたの計算と、どこが変わるのだろう。

(3) 3けた×3けたの計算のしかたを考え、ひっ算に表しましょう。

		×							

※(1)で立てた式を、位に気をつけてあてはめよう。

※3けた×2けたと同じように、位ごとに分けて計算するよ。

※百の位は、「285×100」と考えて計算してみよう。

※位に気をつけて答えを求めよう。

(4) 3けた×2けたのひっ算とくらべて気付いたことを、下の口の中に、文で書き表しましょう。

	2	8	5
×		2	7
1	9	9	5
5	7	0	
7	6	9	5

※3けた×2けたのひっ算とくらべて考えてみよう！

(5) 3けた×3けたの計算を、自分でいくつか作って、ノートか取組シートに練習してみましょう。

※お家の電卓を使って、答えが正しいかどうかたしかめてみよう。

※「542×307」のように、十の位に0が入った数のかけ算も、位ごとに分けて計算できるかな。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆大きな数（教科書 P18～P19）

- 「かけ算の計算は、桁の数が増えても、位ごとに分けて計算すればいいんだ。」と、自ら気付くことが大切です。位を意識して取り組む姿が見られたら、褒めてください。
- 学校では、大きな数の計算の答えを確かめるときなど、目的や場面に応じて電卓を使います。慣れてくると、答えを自分で確かめる習慣も身に付いてきますので、ご活用ください。